

第1学年〇組 学級活動(1)学習指導案

日 時:令和6年〇月〇日(〇) 第〇校時

場 所:1年〇組教室

授業者:〇〇 〇〇

1 議題「2024年お疲れさま!1-1セレモニーを開こう!」

(ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決)

2 議題について

(1) 生徒の実態

本学級の生徒は、明るく活発であり、授業では積極的に挙手をしたり、話し合いを行ったりする生徒が多い。過去に行った「お互いの仲がより深まる会をしよう」や「合唱コンクールに向けて、クラスの気持ちが高まる取組を考えよう」「合唱コンクールを振り返り、お互いに感謝状を贈ろう」の学級会では、多くの意見を出し合い、合意形成を図り、学級全体で集団決定した内容について取り組んできた。

しかし、話し合いでは発表する生徒の固定化が見られ、発言に慎重になる姿勢が見受けられる生徒がおり、自分の思いや考えを積極的に発表するには至っていない。また、出てきた意見を分類する力も十分に備わっていない状況である。そのため、何事も自分事として捉え、意見や考えを恐れることなく発言し、周囲もそれを寛容に受け入れる、より共感的な学級の雰囲気を醸成したい。

(2) 議題選定の理由

中学1年生としての生活もすでに折り返し地点を過ぎ、入学してから約8か月が過ぎた。日々の学校生活に加え、体育祭や合唱コンクールといった大きな行事を経る中で、個人としても集団としても大きな成長を遂げてきた。今回の「4月からの自分たちを振り返りながら、お互いのよいところを再発見しよう」の活動を通し、お互いの良いところや仲間の頑張りを今一度発見し、伝えあうことで、これまで共に活動してきた仲間への感謝の気持ちや、残りの学校生活をよりよいものにするとともに、集団としても成長していこうという生徒の思いにより、本議題は選定された。

3 研究課題との関わり

(1) 研究課題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

(2) 研究の視点

主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり

～特別活動の「見方・考え方」を働かせた話し合い活動の充実～

(3) 研究課題解決のための仮説と手立て

仮説	生徒たちが自身の考えを持った上で学級会に参加することで、学級会での意見が深まり、これまでの経験を生かして、仲間と合意形成を図ったり意志決定したりする場面を、より多く経験することができるだろう。
----	--

手立て①ホワイトボードを活用し、学級会当日の協議題等を事前に掲げることで協議内容についての関心が高まる。

手立て②学級会ノートを活用し、事前に話し合いの流れを知ること、学級会の時間の中で円滑に意見が発表できる。

手立て③学級会前、学級活動委員が仲間の学級会ノートを確認することで、学級会の流れを事前に把握する。

4 評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
学級や学校の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだしている。課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。	学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。

5 事前の活動

日時 活動の場	生徒の活動 ○学級活動委員会 ●全員の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
○月○日(○) 帰りの会	●議題決定に向けてのアンケートを実施する。	・これまでの活動を振り返りながら、記入させる。	◎これまでの自分たちを振り返り、そこからアンケートの記入を行っている。
○月○日(○) 昼休み	○アンケートを基に、議題案と提案理由の検討・選定を行う。	・議題設定の理由を明確にし、アンケートから話し合いの必要性を鑑みながら議題を選定する。	【態】(アンケート)(観察)
○月○日(○) 帰りの会	●議題を決定する。	・学級活動委員の意見を踏まえて決定する。	◎提案理由を踏まえながら、決定する事項について考えている。
○月○日(○) 放課後	○活動計画の作成や提案理由の確認を行う。 ○話し合いのめあてや役割分担を決める。 ○学級会ノートを作成する。	・今後の活動計画、提案理由、話し合いのめあて、役割、決まっていることなどに留意させ、作成するよう助言する。	【思】(発言・観察)
○月○日(○) 帰りの会	○活動計画をクラスに伝える。 ●学級会ノートに自分の意見を記入する。	・提案理由や決まっていることに沿った意見が書けるよう、助言する。	◎議題に沿った案を考えられている。
○月○日(○) 昼休み	○集めた学級会ノートの意見を分類する。 ○意見を短冊に記入する。	・短冊の内容について、学級活動委員の分類に助言する。	【思】(学級会ノート)
○月○日(○) 帰りの会	●本議題や各意見についての再確認や共通理解を図る。	・自分事として捉え、話し合いに参加できるよう助言し、ホワイトボードの掲示を行う。	◎クラスメイトからの案を再度検討できている。
			【思】(観察・学級会ノート)
			◎学級会の実践に向け、見通しをもって取り組んでいる。
			【態】(観察)

6 本時の展開

(1)本時のねらい

○話し合い活動を通して、自分の意見や考えを述べ、他者の意見も大切にしながら、合意形成を図る。

○お互いの良いところを認め、よりよい学校生活になるよう取組を考え、学級内で共有し、実行できるようにする。

(2)指導計画

活動の計画	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
1 はじめの言葉	・学級会のルールに基づいて行われる話し合い活動にする。	
2 学級活動委員の紹介	・自主的に学級会が運営されるよう、事前指導・当日の助言を行う。	
3 議題の確認 4 提案理由の確認	これまでに、「お互いの仲がより深まる会をしよう」や「合唱コンクールに向けて、クラスの気持ちが高まる取組を考えよう」「合唱コンクールを振り返り、お互いに感謝状を贈ろう」を実施するにあたり、たくさんの意見を出し、コミュニケーションを取って準備、実行してきました。1年生の折り返しが過ぎ、2学期も残り1ヶ月となった今、これまでの自分たちを振り返り、お互いのよいところや頑張ってきたことを認め合い、さらに伸ばしていくことで、よりよい学校生活が送れると思い、提案しました。	
5 決まっていることの確認		
6 話し合いのめあての確認	・黒板に掲示し、意識を高めさせる。	◎本時の話し合いの意義や目標を理解し、意欲的に話し合いに参加しようとしている。【態】(観察)
7 話し合い 話し合うこと① 「どのようなかたちで、一人一人の頑張りを伝えるか考えよう」 話し合うこと② 「もらって嬉しいものになるような工夫を考えよう」 話し合うこと③ 「役割分担を決めよう」	・本時の話し合いの意義や目標を確認する。 ・①について、出し合う→比べ合う→まとめるを基本とし、事前に出された「出し合う」を短冊にまとめて掲示する。 ・②についても、事前に考えられるものは学級会ノートに予め記入させておき、発表しやすくする。 ・充実した会とするため、具体的な工夫が考えられるよう、必要に応じて助言する。 ・一人一役担うことで、学級に対する所属感を高める。	◎積極的に自分の意見を発表し、仲間に伝わりやすいように発表している。【知】(観察) ◎仲間の意見も踏まえながら、お互いに納得できるよう折り合いをつけて話し合いを行っている。【思】(観察)
8 決まったことの確認	・決まったことを、きちんと確認させる。	

9 振り返り	・話合いのめあてが達成できたか、自分の取組はどうだったか振り返らせる。	◎合意形成の後、集団決定したことに対し、見通しを持って、自主的に取り組もうとしている。【態】(学級会ノート)
10 教師の話	・話合いが深まる要因となった意見を紹介する。	
11 おわりの言葉	・これまでの学級会と比べて、よくなった点を話す。 ・次回の学級会へ向けた課題を提示する。 ・学級活動委員の活動を称賛する。	

7 事後の活動

日時	生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
【○月下旬～ ○月上旬】	・役割分担に沿って、準備を行う。	・各分担の進捗状況を確認し、随時助言する。	◎よりよい会となるよう、準備に取り組み、当日も提案理由を理解したうえで臨んでいる【態】 (観察) ◎今回の活動を経て、自分のこれまでを振り返り、また仲間への感謝も感じながら、これからの学校生活に生かしていこうとしている。【態】(観察・プリント)
【○月中旬】	・全員で決めたことを実践する。	・提案理由に沿った活動となるよう助言する。	
【○学期末】	・今回の実践を経て、3学期の活動の見通しを持つ。	・よりよい学校生活に向けて、今回の活動をどのように生かしていくか考えさせる。	

8 備考 在籍生徒数 ○人